

平成26年度市政懇談会(深江・布津地区)会議録

■期日 10月28日(火) ■場所 深江公民館 ■参加者 20人

## 1. 道路・交通の整備、世界遺産

### 【意見】

- ① 市長は南島原市が好きですか？道路、交通の整備を進めると、諫早まですぐ行くことができます。諫早のベットタウンになり、南島原市が潤っていいと思う。口之津港を整備し、道路なり船なりの基盤を整備すれば、島鉄跡地の問題など、すべての問題の解決の糸口になると思う。
- ② 日野江城跡と原城跡の世界遺産登録を進められているが、過去に日野江城跡の石垣を業者が壊したという話を覚えている。歴史に対しての関心があまりにもなさすぎると思う。そういう地域で世界遺産登録推進に取り組んでも継続性がないのではないかと心配している。

### 【回答】

#### ① 市長

私は南島原市が好きです。みなさんと一緒に住んでよかったと思われる市にしていきたいと思い、市長になりました。実は、議員になった動機の1つに地元から県央地区への道路事情の解消があります。ずっと訴え続けてきたが、なかなか進みません。しかし、少しずつではあるが、大きな道路が整備されています。一日でも早く県央地区への道路整備が実現するように努力していきます。

#### ②副市長

長崎の教会群とキリスト教関連遺産について現在、ユネスコに推薦書(暫定版)が提出されており、来年2月に正式版が提出される予定です。これまで、主に北有馬町、南有馬町で関連イベントを実施しています。

来週、長崎市で「長崎の教会群」の決起大会があり、席順で南島原市が1番目になっています。これは他の会議では考えられないことです。日本のキリシタンの歴史の中で、南島原がなければ、キリシタンの歴史がゼロだったということに周りが気づいてきたことの現れだと思います。原城跡については発掘により可視化が進んできました。鉄砲の弾で祈りの道具を作成したことは世界でも珍しく、外国の書籍でも「ARIMA」の名前が残っています。また、今年、有馬キリシタン遺産記念館を改修し、キリスト教の伝来と、日本初のキリシタンの学校セナリヨに関する展示も行っています。世界遺産に登録されたら、ヨーロッパ中が注目するでしょう。その他、本市にゆかりの深いヴァリニャーノ神父の出身地であるイタリア キエーティ市との間で姉妹都市の話を進めており、来年は桜の木を植樹する予定です。まだまだPR不足ですが、明るい未来を期待しているところです。

## 2. 税金、道路

### 【意見】

- ① 私の妻の姉夫婦の家の固定資産税を私が払っている。妻の姉夫婦の税金の納付書が私のところに届く。その家はまだあるが、はっきりもらったわけではない。借りる人もいない。市でどうにかできないか。
- ② 県道深江雲仙線の小林小学校から上に700メートルの間の道路の拡張を県に要望してほしい。回答は不要です。

### 【回答】

#### ① 税務課長

家の持ち主が死亡して、住んでいないケースは全国的に多く、子どもがいれば子どもに税金の支払いをお願いしています。民法上は債権放棄をしないと税をかけることとなります。後から子どもや関係者が出てきた場合、書類がないと困るので納付書を本人宛に郵送して課税しています。全国的な問題で、なかなか自治体で解決できません。国、県、他自治体との整合性を図りながら検討している状況です。

## 3. 不祥事

### 【意見】

前市長時代の入札の件で、指名審査委員会で業者を決めた後、市長が差し替えたことが委員会はわからなかったのか。

### 【回答】総務部長

指名委員会で選定後、最終的な権限は市長にありました。変更になった件は委員会に差し戻しもないので、委員会は知りませんでした。冒頭、市長が申したように指名委員会のあり方を検討し、改めていきたいと思っています。

## 4. 道路

### 【意見】

国道251号線を走っていると島原・天草・長島架橋を進めるとの看板が立っているが、計画は進んでいるのか。

### 【回答】建設部長

三県架橋は、長崎・熊本・鹿児島九州西岸軸構想に含まれ、その中で2つの大きな橋の建設計画があり、諫早までの高速道路にも重なっています。平成20年に凍結状態になり、深江～口之津間が候補路線であり、要望しているが、なかなか進みません。地元からの声を粘り強く上げる必要があります。市長と県議会議員が運動を展開中です。